



# この記事がすごい！ 毎日新聞今週のこだわり3本

5月3日・5月10日合併号（311号）

編集／販売総本部ブランドプロモーショングループ

そこ が聞きたい

## 非正規労働者の賃上げ

5日(火) = 暮らしナビ面



2026年春闘は、正社員の賃上げ率（連合の第4回集計）が3年連続で5%を上回る高水準になりました。

一方、働く人の約4割を占める非正規労働者の賃金は正社員同様に上がっているのでしょうか。

立教大経済学部の首藤若菜教授（労働経済学）**写真II**は「広く波及しているとは言えない状況です」と指摘しました。

非正規労働者の賃上げは社会にどんな影響をもたらすのでしょうか。首藤教授にインタビューし、詳しく聞きました。

## 「右足くん、左足くん、ありがとう」人工関節治療最前線

6日(水) = 暮らしナビ面



関節内部を拡大し直接観察できる「関節鏡」 21号鏡は各国に普及した

左右の股関節の軟骨がすり減り、痛みが生じる「変形性股関節症」と診断された福岡県の70代女性は、寝たいても痛みで起きてしまうまで悪化しました。

そこで人工関節に置き換える手術を実施。後日、主治医のもとに「おかげ様で『まあ、歩いてる』なんていわれています。右足くん、左足くん、ありがとう」と思っています。

と喜びの手紙を送りました。超高齢社会。動ける喜びを支える人工関節治療の最前線に迫ります。

## 論点

## どうする「主婦年金」

6日(水) = オピニオン面



公的年金の「第3号被保険者制度（3号）」の見直しに向けて、自民党と日本維新の会が協議しています。3号はサラリーマンの扶

養に入っている配偶者が対象で、自ら保険料を納めることなく、基礎年金が受給できます。働いていない専業主婦のためにできた制度ですが、共働きが多数派となった現在は、「不公平だ」との批判が多く、「主婦年金」とやゆされています。それでも国は廃止のための議論をしていません。

制度のどこに問題があるのか。廃止が難しいのはなぜなのか。老後の所得保障に詳しい丸山桂・上智大学教授**写真II**に聞きました。